

--	--	--	--	--

高等教育計画経営シリーズ8

2024年9月26日(木)

いのち・グリーンを拓く—

食・農系分野の支援施策と大学の役割

～ 安心・安全／健康・環境共生／教育・研究の深化／専門人財養成 ～

- ※ 食の機能とリスク管理／紅麹事件は防げた／必要な保健機能食品学／農学・食品・栄養系教育
- ※ みどりの食料システム戦略／策定と背景／実現に向けた取組／関連法と予算／環境負荷低減
- ※ 農林水産研究イノベーション戦略2024／社会・経済・政策情勢／研究開発の重点事項と目標
- ※ 健康食品の安全性と品質確保／国内外の制度／GMP（品質・製造管理）／必要な能力・人材

● 講師陣 ●

- 長村 洋一 氏 / 藤田医科大学名誉教授 鈴鹿医療科学大学客員教授・前副学長
(一社) 日本食品安全協会代表理事
- 鷹觜 大輔 氏 / 農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課
みどりの食料システム戦略グループ 課長補佐
- 山口 知哉 氏 / 農林水産省農林水産技術会議事務局研究企画課
イノベーション戦略室課長補佐
- 池田 秀子 氏 / (一社) 日本健康食品規格協会 理事長

2024年9月26日(木) 日本教育会館会議室／オンライン



一般社団法人
高等教育計画経営研究所

日時：2024年9月26日(木) 13:00～16:40
会場：日本教育会館 807会議室(東京・神保町)
千代田区一ツ橋2-6-2 TEL03-3230-2833
東京メトロ半蔵門線・都営新宿線「神保町駅」、
A1出口より徒歩4分

Web：「zoom」によるオンライン
※ 受講証の送付をもって参加受付となりますので、
必ずご確認ください。

参加費：A.ご一名(資料代込) 35,000円(税込)
B.メディア参加(資料・音声データ送付) 36,000円(税込)

※ 「メディア参加」とは、
開催当日に受講が難しい方の参加形式。
開催後に当日配布資料及び講義の音声データを送付。
※ 参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が
悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法：参加申込書に所要事項を記入のうえ、
FAX または E-mail にてご送付ください。

支払方法：銀行振込・当日払いがあります。
三菱 UFJ 銀行麹町支店 普通 0399197
<口座名 (一社) 高等教育計画経営研究所>
※ ご請求なき場合は振込受領書を領収書に
代えさせていただきます。

申込先：高等教育計画経営研究所
〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-10
ライオンズマンション平河町106
Tel：03 (3234) 1231 Fax：03 (3234) 4993
E-mail：kkkk@kotokyoiku-kken.or.jp
HP：https:// www.kotokyoiku-kken.or.jp/

〈 ※参加申込みの折は、必ずお送りください〉

研修会参加申込書

高等教育計画経営シリーズ8

2024年 月 日

食・農系分野の支援施策と大学の役割

- (□に✓印を)
 会場参加 オンライン参加 メディア参加
 支払方法 銀行振込 当日払い
 必要書類 請求書 見積書 領収書

勤務先 _____

所在地 (〒 _____) (書類宛名 _____)

連絡部課・担当者名 _____

TEL _____ FAX _____ メールアドレス _____

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
13:00 }	<p>□ 食の機能とリスク管理における大学教育の責務 ～ 紅麴事件は防げた／農学・食品・栄養学部から専門人材を～ 鈴鹿医療科学大学 長村 洋一</p> <p>1. 紅麴事件は防げた (1) 事件を起こした機能性表示食品紅麴とは (2) 事件の直接的な原因 (3) 品質管理をいい加減にした無念さ (4) 機能性表示食品制度はどのようにして創設されたか</p>
14:10	<p>2. 農学・食品・栄養・医療系学部教育に必要な保健機能食品学 (1) 保健機能食品とは (2) 国民の多くが知らない保健機能食品制度の本当の目的 (3) 多量に出回っている機能性表示食品の現状 (4) 食の教育で無視できない保健機能食品</p> <p>3. 農学・食品・栄養学部から専門人材を (1) 人体の構造と機能に関する基礎知識教育 (2) 食品成分の生体への作用機構の教育 (3) 食の安全・安心に対する誤解を解く能力養成 (4) 健康食品管理士／食の安全管理士養成という方法 〈質疑応答〉</p>
14:20 }	<p>□ みどりの食料システム戦略の推進について ～ 策定と背景／戦略概要／実現への取組～ 農林水産省 鷹嘴 大輔</p> <p>1. みどりの食料システム戦略の策定と背景 (1) 気候変動と農林水産業 (2) みどりの食料システム戦略の概要</p>
15:00	<p>2. みどりの食料システム戦略実現に向けた取組 (1) 関連予算とみどりの食料システム法について (2) 環境負荷低減の取組の「見える化」について (3) 農林水産分野におけるカーボン・クレジットについて (4) 環境負荷低減のクロスコンプライアンスについて (5) 国内外への発信 〈質疑応答〉</p>
15:10 }	<p>□ 農林水産研究イノベーション戦略2024の推進施策 ～ 新たな農政の展開に向けた研究開発の重点事項と目標～ 農林水産技術会議 山口 知哉</p> <p>1. 農林水産研究をめぐる最近の社会・経済や政策の情勢 (1) 国際的な食料需要の増加と食料供給の不安定化 (2) 我が国の経済的地位の低下 (3) 人口減少と高齢化に伴う農業者の減少 (4) 海外も視野に入れた市場開拓</p>
15:50	<p>2. 重点的に行う研究開発 (1) 人口減少に対応するスマート農林水産業の加速化 (2) 「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた研究開発の加速 (3) 「持続可能で健康な食」の実現 (4) バイオ産業市場獲得に貢献する研究開発</p> <p>3. 研究開発環境の整備 (1) 産学官共同連携拠点の整備 (2) スタートアップ支援の強化 (3) 知的財産マネジメントと国際標準化の強化 (4) 国際連携による研究開発の推進と成果の応用 (5) 異分野を含めた人材確保 (6) 研究インテグリティの確保の徹底 〈質疑応答〉</p>
16:00 }	<p>□ 健康食品の安全性と品質確保の課題と人材養成 ～ 国内外の健康食品の制度、健康食品GMPの視点から～ 日本健康食品規格協会 池田 秀子</p> <p>1. 健康食品の制度とリスク管理 (1) 我が国の健康食品制度 (2) 諸外国のサプリメント制度 (3) リスク管理の視点での国内外の制度の違い</p>
16:40	<p>2. 健康食品の安全性と品質確保 (1) わが国のガイドラインの内容 (2) 健康食品GMPの実際 (3) 健康食品原材料の安全性確保の重要性</p> <p>3. 健康食品業界が必要としている能力・人材 (1) 化学分析と品質管理 (2) 文献検索と解析 (3) 安全性試験と臨床試験の専門知識 〈質疑応答〉</p>